

令和6年12月

# 魚津市定例記者会見



日時:令和6年11月29日(金) 午後1時30分～午後2時

場所:市役所 第一会議室

報道出席者:北日本新聞社、富山新聞社、読売新聞、NHK、KNB、NICE TV

市当局出席者:市長、財政課長、情報広報課長

## 【市長からの発表事項】

### 1. 12月市議会定例会に提案する補正予算の主な内容 (財政課)

補正額は、781,252千円で補正後の総額は、206億円あまりということでございます。  
(プレスリリース資料ありの事業について説明)

まず、ふるさと寄附推進事業ですが、ふるさと納税の申し込みが当初の見込みを上回るということで、返礼品の調達等の経費及び次の積み立てを増額をします。

補正額としては、6億円を予定をしております。経費内訳の方にありますけれども、この6億円積み増しをして、そのうち、2億5千万円は返礼品を含む、同事務委託費の経費、そして、もう1つ2億5千万円の方は、地域づくり推進基金の方へ積み立てを行うものであります。さらに、1億円は桑山教育推進基金積立金ということで、こちらは新設になります。先般、桑山株式会社の桑山会長から1億円のふるさと寄付をいただき、この受け皿として、この教育基金を設置をしようというものであります。

増加要因は、商品ラインナップの充実、受付サイトの増、申し込み方法の多様化などから、寄付が増加しているということになります。

次に、犯罪被害者支援に関する条例を12月議会に提案をしていく予定にしておりますけれども、その支援策ということになります。内容としては大きく啓発等支援金の創設がありますけれども、年度内に市民の皆さんに広くこの制度を周知するための取り組みを行っていきたいと思っておりますし、支援金の方につきましては、遺族支援金と重傷病支援金を備えておくという内容になります。県内では富山市、滑川市がすでに取り組みを進めていますが、本市でもこの安全な地域社会、安心して暮らすことができる、そういった地域社会を目指すためにこの支援事業を用意して、市民の皆さんにお伝えをしていきたいと思っております。

次は、市道の維持補修事業と、河川の維持事業ですけれども、民間の事業者さんの方からも、年度始めは手が空いていたりするため、事業の発注を早めてほしいとのご要望もお聴きしているところです。そこで、令和7年度に実施を予定している工事費のうち、一部を令和6年度内に発注をして、年度始めから工事着手できるように準備をしていこうと考えておりました、この道路や河川の事業について、この12月で予算措置をするというものになります。

## 2. 「チョイソコうおづ (AI オンデマンド交通)」 実証運行 出発式 (企画政策課)

実証運行事業そのものにつきましては、前回の定例会見からご案内をしておりますので、直接的には、12月2日に、上中島コミュニティーセンターで出発式を行うご案内になります。当日は、関係者の他、第1号となる乗車される方などもご紹介をしていきたいなと思っております。今、停留所といいますか、乗車ポイントとしては87ポイント選定いたしまして、主にクリニックですとか、薬局ドラッグストア、こういったようなところが多いわけでございますけれども、高齢者の方などの移動を少しでも円滑になるように応援をしていこうと考えております。今後こういった運行がいいのかということ、いろいろデータを集めていきたいと思っております。

## 3. 2024 イルミラージュ U0ZU 点灯式 (商工観光課)

イベントの内容ですが、第二こども園の園児さんによる合唱、ハンドベル演奏、キャンドルロードの設置、そして新しい取組としては、商工会議所青年部が今年50周年ということで、クラフトビールを開発をされましたけれども、そのクラフトビールで乾杯をしようということも行います。

## 4. 魚津の農林水産業 体験・応援プロジェクト 親子体験会 (農林水産課)

12月の親子体験会ですけれども、2種類あります。6次産業化親子体験会は、ぶどうの森工房の方で、親子10組で、座学やほしいもづくりなどの体験をしていただきます。

もう1点は、冬の特別体験会ということで、魚津の海・山・里のめぐみオール体験ということであります。森林組合や漁協、源七、片貝地域振興会、桃山ぶどう園、こういった方々のご協力をいただいて、盛りだくさんの体験会となっております。お天気が悪いと中止になる可能性はありますが、ぜひ、この冬の特別体験会、楽しんでいただければなというふうに思っております。

## 5. 第4回 紅ズワイガニロボコン魚津大会 参加者募集

(教育総務課)

本市では、かねてからプログラミング教育の推進の一環ということで、このベニズワイガニロボコンを開催をしておりますけれども、今年で4回目の開催となります。

今回の4回目の大会では、まず魚津市としての大会を前半に実施をし、そこで優勝者を決めます。そして、福井、石川、新潟の優勝者が、ここにこの日集まって参りますので、北陸大会ということで開催します。事前講習会もありますので参加をしていただいて、この大会にチャレンジしようと、という機会にさせていただければと思っております。

### 【質疑応答の内容】

#### ○「犯罪被害者支援事業」について

##### 《記者からの質問》

なぜこのタイミングで条例制定となったのか。市民からの陳情などによるものか。

##### 《回答》(市長)

そもそも富山県自体が、この取組が全国的に見て少ないというふうなベースがある中で、やはり更生保護を行う皆さんやこういったような分野についての対応を考えていかなければならないんじゃないかというお声は、お聴きしております。

本市としても、積極的にこういった問題には対応をしていこうとの思いを持って、昨年から検討してきたということになります。具体的な啓発活動は講演会を予定しております。できるだけ早く多くの皆さんに、広く知ってもらえるような工夫をしていきたいと思っております。

#### ○「県立高校再編」について

##### 《記者からの質問》

県内の県立高校を20校程度にするとのことだが市長の考えをお聞きしたい。

##### 《回答》(市長)

生徒数からシミュレーションとして出された数だと思いますが、やはり減少数が大きいので、私としては、かなり影響の大きい問題だというふうにまず受けとめました。市内には、県立高校が3つあるので、それぞれの高校の特性、役割があります。ですから、今回の再編では、単に数やそれぞれの高校だけをとらえるのではなく、この市内にある高校を内容的にどういうふうにしていくのかを含め、この再編の議論の中で検討をしてほしいと思っております。例えば地元の企業や関係の皆さんからもしっかり声を聴いて、地域としての思いなり、考え方、そして高校生自身の思いもありますので、そういったことを踏まえて、意見を述べる機会があると思っておりますので、対応していきたいと思っております。